

第 1 回 「オリエンテーション」

・実習の受講について：

この成果は、就職活動に用いるポートフォリオの素材となるモノである。

重要度の高い実習と位置づけ、アウトプットのクオリティを上げること。

課題シートやデザインプロセスなどをファイリングしていく。ファイルを毎回忘れず持参のこと。

毎回の経過報告では、必ず目に見える成果を出すこと。（メモや参考事例などの報告が最低ライン）

・毎週の実習の進め方：

実習前半 - 学生よりの 1 週間の経過報告プレゼンテーション + 教員からの講評

実習後半 - 教員よりの次のプロセスに関する説明 + 学生からの質問

課外時間 - 学生の実作時間

・出題：『生体情報認識を用いた、新しい製品（サービス）の提案』

現在、生体情報認識はセキュリティレベルを上げる為の製品として利用されるのが主である。

これらの技術を用い、私達の LifeStyle を、より楽しく、より便利にする提案を行いなさい。

* セキュリティ関連の提案は NG とする。

* 15 年後程度に実現可能な、未来的なワクワクする提案をすること。

・評価基準：新規性《30%》（これまでに無い、製品（サービス）としての魅力・概念を含んでいるか？）

説得力《20%》（技術的な裏付けを、調査を通して確実にやっているか？）

伝達力《20%》（自らの提案を伝達する為に、どれだけの努力をしているか？）

継続力《20%》（本実習で誘導するデザインプロセスに従い、着実な制作をおこなったか？）

出席《10%》

・最終提出物：

・プロセスファイリングデータ（自分の保存の為に、ファイルを準備のこと）

【A】表紙

【B】生体情報認識に関する調査

【C】15 年後の未来の生活に潜む問題点の予測と関連する事例の調査

【D】15 年後の生活の中に潜む問題点の解決案

【E】提案する製品（サービス）のコンセプト

【F】情報の入出力（システム）

【G】「アイデアスケッチ」「スタディモデル」「3 面図（図面）」

【H】「レンダリング」「CG レンダリング」「モックアップ」「プロトタイプ」「スケールモデル」

【I】パネル

・毎回の提出物：

スクリーン上で見せる PDF データ（カラー）と、教員への提出用に 4 枚の出力紙（モノクロ）を準備。

PDF データの提出場所（Common / 提出 / 総合実習 2（柿山） / 各回フォルダ）

↑

授業開始 15 分前までに

第 1 回 「オリエンテーション」

- ・スケジュール（別紙）：
- ・最低限求める技術
 - 手書きドローイング / 製図 / レンダリング
 - Illustrator / Word / PDF 作成 / Director or Flash or Keynote or PowerPoint によるプレゼンテーション
 - USB フラッシュメモリを用いたデータのやり取り
- ・講義サイト
 - <http://kakiyama.info/scu/dsp/>
- ・概論
 - ・文章の記述について（卒業論文の為の練習）
 - ・図書館における論文検索について
 - ・生体情報認識（セキュリティ）に関する解説
 - ・生理指標に関する解説
 - プロジェクション（講義サイト上の資料）参照
- ・第 1 回課題 出題：
 - 利用が可能と考えられる（人間の置かれた状況により変化する）**
 - 現在の生体情報認識をピックアップし、技術面に対する調査を行いなさい。**
 - この際、少なくとも以下の項目に関する情報収集・自らの見解の記述を行いなさい。**
 - ・センシング技術に関して
 - ・取得データの特性
 - ・対象とする人間の部位・動作・特徴
 - ・最低限必要な機構・サイズ
 - ・実用レベル（15 年後にどの程度の性能・価格・サイズになるか）
 - ・出展（引用文献の記録）

▼次回までの課題▼

- ・【A】表紙
 - 顔写真と名前を入れ、PDF 保存の練習をしなさい。
 - ・【B】生体情報認識に関する調査
 - 今回の課題で利用できそうな生体情報認識にかんして、2 点を選び
 - その詳細に関して、調査を行い、結果をまとめなさい。
- 上記に関する報告を、一人 4 分でしてもらいます。

2011年 製品デザインコース デザイン総合実習Ⅱ 講義進行予定表

110408

受講学生数:13名+編入生2名

		担当内容(解説内容)								提出物
日程 (2011年)	テーマ (学生の発表内容)	石崎 教授	酒井 教授	杉 教授	張 准教授	三谷 准教授	柿山 講師	小宮 講師	長谷川 助教	
4月8日	第1回 オリエンテーション (自己紹介プレゼン(これまでの成果、春休みの成果))				○ 【コメント】	生体情報認識 センシング技術 情報収集 文章の記述 引用の方法 【コメント】	オリエンテーション 【コメント】	○ 【コメント】	○ 【コメント】	
4月15日	第2回 生体情報認識に関する調査						製品アウトプットの例 アイデア発想 問題点の明確化 改善案10案	【コメント】	○	【A】【B】
4月22日	第3回 生活の中に潜む問題点の調査と問題点の解決案						コンセプト 【コメント】		○	【C】【D】
5月6日	第4回 提案する製品やサービスのコンセプト				【コメント】		情報の入出力		○	【E】
5月13日	第5回 入力される情報と出力される情報				製品の造形に関して		【コメント】		3面図	【F】
5月20日	第6回 アイデアスケッチ・スタディモデル・3面図						○		モデル作成(工房利用) 【コメント】	【G】
5月27日	第7回 モックアップ・レンダリング				【コメント】		○		○	【H】
6月3日	第8回 制作日(中間プレゼンテーション準備)				相談	相談 【コメント】	感性情報を用いたサービス 提案例 互いのプレゼン評価 相談	相談	相談	
6月10日	第9回 中間プレゼンテーション(PC)／講評会	【コメント】	【コメント】	【コメント】	○	○	修正案の構築	○	○	PC
6月17日	第10回 修正案の構築					モックアップ プロトタイプ	プレゼンテーション	【コメント】	○	報告
6月24日	第11回 プレゼンテーションプランニング					【コメント】	【コメント】		○	報告
7月1日	第12回 制作日(模型制作・CG制作・パネル制作)				相談 【コメント】	相談	パネル出力 相談	相談	相談	報告
7月8日	第13回 制作日(模型制作・CG制作・パネル制作)				相談	相談	相談	相談	相談 【コメント】	報告
7月15日	第14回 制作日(パネル出力)						パネル出力補助			
7月22日	第15回 プレゼンテーション(パネル)／講評会	【コメント】	【コメント】	【コメント】	○	○	○	○	○	【I】
8月5日	定期試験期間に公開プレゼンテーション(方式自由)	【コメント】	【コメント】	【コメント】	【コメント】	【コメント】	【コメント】	【コメント】	【コメント】	
8月6日-7日	教員の専門性把握合宿(場所未定) 震災に伴い、自粛を検討中	○	○	○	○	○	○	○	○	